

10日間の 祈り

【テーマ聖句】

「もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。」(マタイによる福音書 6章 14節)

『だから あなたが祈るときは』

【9日目 わたしたちの負い目を赦してください、 わたしたちも自分に負い目のある人を赦しましたように】

2025年1月16日(木)

感じなかったのです

私の教会では、長い間長老を務めている高齢の女性がいます。彼女が入院したので、お見舞いのために病室を訪れると突然彼女が言いました。「先生、私のために祈らないでください。私はきっと救われませんから…」私は驚いてたずねました。「どうしてそう思うのですか？」すると彼女は答えました。「私は若い頃に大きな罪を犯してしまったからです」しばらく沈黙が続いた後で私はさらに質問しました。「神様に赦しを求めたのですよね？」彼女は答えました。「ええ、もちろん。でも神様は私を赦してくださいませんでした」。「なぜ？」と私が尋ねると、彼女は悲しそうに答えました。「赦されたと“感じられなかった”からです」。私たち二人はそのことについて話し合い、私が病室を出る頃には、彼女はすっかり平安と喜びを取り戻していました。

そもそも赦しとは“感じとる”ことができるものなのでしょうか。例えば、体の中に熱い潮流が湧き上がってくるのが感じられるのでしょうか。あるいは手の先がだんだん冷えていくような感覚があるのでしょうか。誰かが頭をなでてくれているような感じがするのでしょうか。それとも、赦されたことが匂いでわかったりするものなのでしょうか。残念ながらそんなことは不可能です。

聖書には明確に書かれています。「自分の罪を公に言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、罪を赦し、あらゆる不義からわたしたちを清めてくださいます。」(1ヨハネ 1:9) 小さな罪しか赦されないとか、限定数までしか赦されないとは書かれていません。私たちが罪を告白するなら、神様はすべての罪を赦してくださるとははっきり約束されているのです。私たちの側の条件は罪を「告白する」こと、そして神様が果たしてくださるお約束が赦しなのです。あなたが罪を告白すれば、神様は約束どおり罪を赦してくださるのです。

前述のとおり、赦しは私たちの五感で感じ取れるものではなく、科学的に証明できるものでもありません。それはただ信仰によるものです。神様の約束に信頼し、神様が決して偽りのないお方であることを信じるのです。それを言葉で説明することはできませんし、そもそも人間がもつ言葉だけでは不十分です。しかし神様のご品性とみことばに基づく約束は100%確実です。神様のお約束ほど確かなものはこの世に存在しません。

神様は、私たちが罪を告白した瞬間に私たちが赦してくださいます。すでにイエス - 世の罪を取り除く神の小羊 (ヨハネ 1:29) - は十字架上で私たちの罪の代価を支払ってくださったのです。イエス・キリストの血はすべての罪をきよめるのに十分であり、事実、その血による罪の贖いがすでに私たちに与えられているのです。(エペソ 1:7)

神様に罪を告白したなら、その後は信仰を働かせて、約束通り神様が赦してくださったと信じましょう。聖書は次のように言っています。「アブラハムは神を信じた。それが、彼の義と認められた。」(ローマ 4:3) また「正しい者は信仰によって生きる」(ローマ 1:17) とも言っています。私たちが信仰をとおして信じるときに神様が働かれて、私たちは赦されるのです。それを言葉で説明しようと試みたり、逆に自分は赦しを受けるのに値しないから、などと考えないでください。「事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。」(エペソ 2:8)

「神を信じるこの簡単な行為によって、聖霊は私たちの心に新しい命を与えます。私たちは神の家族の子どもとして生まれたのです。ですから、神はみ子を愛されると同様に私たちを愛してくださるのです。」
（『キリストへの道』改訂第三版文庫版 73 ページ） 赦し、義、救い — これらはすべて信仰によって受け取ることのできる賜物なのです。

「罪人である私たちも同じです。過去の罪をあがなうことも、自分の心を変えることも自分自身を清くすることもできません。しかし神は、こうしたことをすべてキリストを通してしてくださるとお約束なさいました。あなたはまずそのみ約束を信じ……神のみ約束を疑わず、ゆるされ、清められたと信じさえすれば、神はそれを事実としてくださるのです。……いやされたと感じるまで待つてはなりません。そして『信じます。いやされています。私がそう感じるからではなく、神がこれを約束されたからです』と言いましょ。」（『キリストへの道』改訂第三版文庫版 71、72 ページ）

キリストの十字架を見つめるときに、私たちは神の極限の愛の現れを垣間見ることができます。創造主であるキリストの語る言葉にはすべてを実現させる力があり、天使たちでさえ、み前で顔を覆わなくてはならないお方なのです。全宇宙の王でありながら、人間の姿をとって地上においでになり、聖であられる神が私たちのすべての罪を引き受け、身代わりとなってくださったのです。これが十字架上で行われたことです。

その十字架に目を向け続けてください！ 恵みを経験した人は、惜しみなく恵みを分かち合うようになります。赦しを経験した人もまた、惜しみなく赦すようになるのです。「すべての赦しは、なんの功もなくして得られる神の愛に基づいている。しかし他の人々に対するわたしたちの態度は、わたしたちがその愛を自分のものにしたかどうかを示すのである。」（『希望への光』 — 『キリストの実物教訓』 1281 ページ）共に祈りましょう。

祈りのグループの種類や、祈る方法はさまざまです。今から 30～45 分間、聖霊に導かれるままに、一致した祈りの時間を過ごすことをお勧めします。以下は、御言葉に基づいて祈る祈りの一例です。他の聖句を読んで祈ることもできます。祈りのアイデアについてはリーダーズガイドをご覧ください。

【神のみ言葉によって祈る】

「もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。」

(マタイによる福音書 6 章 14 節)

「もし人の過ちを赦すなら」

父なる神様。私たちはときに相手を赦せないと思ってしまうことを告白します。私たちを、苦々しきや恨みから解放してください。私たちの心を造り変え、あなたの恵みが私たちを通して他の人々に流れ出るようにしてください。敵をも愛されたイエスにならい、御国の到来を待ち望む者として私たちの心を一つに繋いでください。

「あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる」

神様。悔い改めと贖いという、私たちが受けるに値しない賜物に心から感謝します。ときに私たちは、あなたの好意を得るために自分勝手な努力をしてみたり、あなたからの赦しを受け取らないままで苦しんでいます。今後はあなたの赦しを喜んで受け取り、贖いの恵みを他の人々に分かち合うことができるようにしてください。

【さらなる祈りの提案】

感謝と讃美： 与えられた祝福を具体的に感謝し、神の恵みを賛美する

告白： 数分間、個人的な告白を行い、神の赦しに感謝する

願い： 現在の課題や決断に知恵を与えてくださるようお願いする

教会のために： 私たちの教会、地域の教会、世界中の教会の働きを神が祝福してくださるように
祈る

人々の必要のために： 教会員、家族、隣人の必要のために祈る

静かに耳を傾け、応答する： 静かに神の声に耳をかたむけ、賛美と歌で応答する時間をもつ